

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 6年 3月 5日

事業所名 おひさまはうす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	場所と活動をセットにするなどの工夫を行っている	一方で、境界を作るために家具などを配置していることから、少し狭く感じることもあるため、今後場所の整理を行いたい
	2	職員の配置数は適切である	4	1	通常より多くスタッフを配置している	まだまだ職員間で支援スキルの向上を図る必要がある
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	2	自然な状況で場所と活動の意味を整理することができるように工夫している	4月からの利用者の状況によって再構造化していく必要がある
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		家庭での場所の組み立てをイメージしている	今後も継続して取り組んでいく
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		毎日のスタッフ打ち合わせで実施している	支援の組み立てに関し、一部のスタッフが引っ張っているため、全スタッフがうまくからむことができるような組み立てを検討したい
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		毎年年度末にアンケートを実施している	今後も継続して取り組んでいく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		毎年年度末にアンケートを実施している	今後も継続して取り組んでいく
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		法人に関係する保護者の方など、様々な立場の方の意見を取り入れている	今後も継続して取り組んでいく
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		自閉症eサービスの年間パスを取得したり、内部研修や法人主催のワークショップなど	法人内にとどまらず、地域に向けた取り組みにも展開していきたい
適切な	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		簡易の評価キットを使用している	現状は一部の職員しか活用できていない現状があるため、今後は全職員が活用できるようにしたい
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		同上	同上
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5		発達支援、家族支援については療育に保護者も同席していただく中で、ご本人の状況と一緒に確認しながら進めている	地域支援については、具体的な手立てをなかなか実施できないため、検討していく必要がある
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5		保護者とご本人の様子を確認しながら進めていくことができる	今後も継続して取り組んでいく

は 支 援 の 提 供	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	現状、管理者が中心となっている	チームとして立案ができるよう検討していき
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	様々な領域の課題や活動を検討している	特に余暇活動の幅が狭いため、今後の課題にしていきたい
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	2	3	現状、個別活動が中心となっている	今後はグループ活動についても力を入れて取り組みたい
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		午前と午後、就業前に必ずミーティングを行っている	今後も継続して取り組んでいく
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		毎回行っているが、関わっている一部の職員とのやり取りが中心	今後、振り返りのあり方について検討していきたい
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		必要に応じて、記録用紙の形状を変更しながら進めている	今後も継続して取り組んでいく
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5		毎回保護者と一緒に通所されているため、毎日がモニタリングの機能をもっている	今後も継続して取り組んでいく
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		必ず管理者が参加するようにしている	今後は他の職員も参加できるように検討していく
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		高浜町子育て包括や、子ども未来課と積極的に連携を行っている	今後も継続して取り組んでいく
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		相談員や行政とも連携して行っている	今後も継続して取り組んでいく
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		同上	同上
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5		自立支援協議会等の場で、積極的に意見交換を行っている	今後も継続して取り組んでいく
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	2	普段の生活の軸が保育所等の方がほとんどのため、事業所としては特に行っていない	必要に応じて検討していく
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		今年度も欠かさず参加をした	今後も継続して取り組んでいく
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		保護者の方と療育の様子を確認しながらすすめているため、常に共通理解を図っている	今後も継続して取り組んでいく

保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	2	療育の場面を実際に確認しながら進めているが、系統立てたプログラムは実施していない	必要に応じてプログラム可も検討していく
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		玄関に常に掲示している	今後も継続して取り組んでいく。また来年度は報酬改定もあるため、再度丁寧に説明する必要があると考えている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5		実際に療育場面と一緒に確認しながら進めているため、同意を得ながら実施している	今回のようなアンケートも活用しながら、直接は伝えにくくともあると思うため、意見をうまく拾うことができるような工夫を検討していきたい
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		保護者同席のため、常に相談をしながら進めている	今後も継続して取り組んでいく
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	4	今年度はなかなか実施できなかった	法人内の保護者を中心とした交流会や地域に開かれた交流会を検討するなどしていきたい
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		何かご意見をいただいた際には、すぐに対応できるように心がけている	今後も継続して取り組んでいく
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	毎月のおひさまsmileを会報として提供している	今後も継続して取り組んでいく
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5		様々な繋がりが多々ある地域のため気を付けて対応している	今後も継続して取り組んでいく
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		視覚的な支援などを活用し、特に意思決定については意識して取り組んでいる	今後も継続して取り組んでいく
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	児童発達は個別療育が中心のため、あまり実施できていない	今後検討していきたい
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		マニュアルについては、各種事務所のだれでも見やすい場所にまとめて、いつでも確認できるように設置している	訓練についてはもう少し頻度を上げて検討していきたい
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	4	上記のように訓練の頻度に少なさを感じる	消防と連携しながら進めていきたい
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		保護者に確認しながら進めている	今後も継続して取り組んでいく
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		対象となるお子さんがいないが、必要に応じて対応していきたい	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		少しのことでも気になったことがあれば、業務日誌等で共有している	今後も継続して取り組んでいく
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		毎年かならず全職員に対し虐待防止の研修を行っている	今後については、支援の向上を目指し、虐待の未然防止につなげていきたい

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		保護者と一緒に通われるため、現状では特に必要がない	
----	--	---	--	---------------------------	--